



2025年2月13日

各 位

会 社 名 日本アンテナ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 瀧澤 功一
コード番号：6930 東証スタンダード市場
問 合 せ 先 専務取締役 清水重三
TEL 03-3893-5221

(開示事項の経過) 特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第3四半期累計期間（2024年4月1日～2024年12月31日）において、下記のとおり特別利益及び特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益及び特別損失の内容

構造改革に伴う損益

当社は、厳しい事業環境のもと、一連の構造改革を進めております。2025年3月期第3四半期累計期間においては、中間会計期間に引き続き企業価値向上に繋がる種々の施策を実施しております。これに伴い下記の特別利益及び特別損失を計上いたしました。

(1) 特別利益の内訳

蕨工場売却等による固定資産売却益

2024年3月25日付「固定資産の譲渡及び特別利益の発生見込みに関するお知らせ」及び2024年5月15日付「(開示事項の経過) 固定資産の譲渡及び特別利益の発生見込みに関するお知らせ」において開示しましたとおり、当社は生産・開発機能集約の一環として蕨工場を売却しました。それに伴い、当第3四半期会計期間の連結及び個別決算において固定資産売却益3,670百万円を特別利益として計上いたしました。同累計期間においては3,671百万円の特別利益となります。

(2) 特別損失の内訳

① 棚卸資産の廃棄及び評価損

2024年11月13日付「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は棚卸資産の評価・検討を継続して行っております。その結果、当第3四半期会計期間の連結及び個別決算において33百万円の事業構造改善費用を特別損失として計上いたしました。同累計期間においては215百万円の特別損失となります。

② 蕨工場から川里工場への従業員・工場機能集約に関する費用

蕨工場から川里工場への従業員・工場機能の集約に伴う費用として当第3四半期会計期間の連結及び個別決算において41百万円の事業構造改善費用を特別損失として計上いたしました。同累計期間においては164百万円の特別損失となります。

③ 蕨工場売却に伴う固定資産売却損および固定資産処分損

蕨工場の売却に伴い固定資産を売却、処分したこと等により、当第3四半期会計期間の連結及び個別決算において固定資産売却損1百万円、固定資産処分損59百万円を特別損失として計上いたしました。同累計期間においては63百万円の特別損失となります。

2. 業績への影響

本日付で公表しております「2025年3月期第3四半期決算短信[日本基準](連結)」に反映しております。

以 上